

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 火・水・水・木	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 I (German I)		
対象年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) (火1:L a-c)(水1:P18) (水2:T21B~22A)(木2:T20A~21A)	科目分類	外国語科目(ドイツ語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TELE/オフィスパワー 担当教員:ファーデン・ゲアハルト / Eメールアドレス:g-faden@net.nagasaki-u.ac.jp /研究室: 環境科学部一階 /TEL:095-819-2774 /オフィスパワー:講義の前後			
担当教員(オム ニバス科目等)			
<p>授業のねらい</p> <p>初めてドイツ語を習う学生が、言葉だけでなく、ドイツの社会・生活・文化などにも触れることができるよう配慮します。ドイツ語の学習が契機となって、学生がドイツ語のみならず、ドイツ語圏文化に興味を抱いてくれることを期待しています。</p> <p>授業方法(学習指導法)</p> <p>ドイツ語のABCから始まり、文法の順を追って次第に程度を高めながら、ドイツ語の基礎を学習します。練習問題を通じて文法の基礎を身につけます。ビデオと映画も利用します。</p> <p>授業到達目標</p> <p>聞く、話す、読む、書くという基本能力がバランスよく見につくようにします。文法はドイツ語検定試験4級の範囲に限定しています。</p> <p>授業内容(概要) / 授業内容</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>基礎文法事項と簡単な会話。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 第3回 ドイツの歴史と文化/ドイツと日本の関係について 第4回 ドイツの現代/ドイツの観光地について 第5回 第6回 ドイツ語の発音の基本。挨拶の表現/ドイツの味わいと祭りについて 第7回 文の形・基数。自己紹介の練習/ドイツの教育と大学制度について 第8回 第9回 冠詞と名詞/ドイツの政治制度について 第10回 第11回 動詞の変化/ドイツの経済について 第12回 人称代名詞/ドイツの環境問題について 第13回 前置詞/ドイツの将来について 第14回 まとめ 第15回 全授業の総括</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	やさしいドイツ語 同学社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への貢献度(20%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			